



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

週報

第420回例会 12月6日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

■司会: 金山土洲 ■点鐘: 坂井 光蔵 ■ロータリーソング: 希望のエナジー

■ゲスト: クリニック ミズ ソヒア・野田恒夫様

会長挨拶

昨日、車両整備業界の研究発表会が名古屋であり、約300社が集まりました。今、業界は全国に94,000社があります。コンビニやガソリンスタンドと比較しますとコンビニは、全国に約46,000店。

ガソリンスタンドは、38,000店あります。これから見ても自動車整備業界は多い事が分かります。ディーラーは、新車が売れない。オートバックスは、小物が売れない。経営者は意識を変えないといけません。リーダーが勉強しスタッフに教育をする。業界は今後、激しい競争となります。競争に勝つためには、人材育成の競争に勝たなければなりません。自動車業界は、経営者が勉強をして意識改革をしなければ今後は生き残れないと思います。

幹事報告

- ①配布物;ロータリーの友12月号を、レターケースに配布してあります。ガバナー月信ですが、ガバナー事務局より送られて来た部数が少なかった為、後日に配布します。
- ②本日例会終了後に43階事務局で役員会が開催されます。「役員会」とは理事会開催の為の事前打ち合せする会です。
- ③来年一月より事務局員が交代致します。新事務局員は市川さんです。

★新事務局の挨拶★

『後任の市川祐子と申します。少しずつ勉強しながらやっていますので、宜しくお願いします。』

委員会報告

会員増強部会: 諸星部会長

- ①第3回の締め切りが12月10日です。
- ②例会見学を希望する方がいる場合は事前に報告をお願い致します。

ハッピーバースデー

親睦部会: 野田副部会長

- ①長谷川博久(51才)11月20日生れ
- ②長谷川隆是(34才)11月20日生れ
- ③安間孝幸(54才)12月04日生れ
- ④広岡和幸(54才)12月01日生れ

例会風景



金山土洲



瀧浪 實



江田 英雄



金山土洲: 本日は個展のDMを配らせていただきました。ここオークラにて第6回になり12月31日~1月5日まで開催します。先日お話をした本来の墨の色をご覧頂ければ幸いです。また、1月2日11時より1階ロビーにて3メートルX3メートルの大作、今回は「荒城の月」を約3分半時間で書き上げますのでお時間ございましたらお立ち寄り下さい。

瀧浪實: 本日配布されたロータリーの友の巻頭に レンジャーさんの話が載っています。島田市医師会の会長を現在されていますが、アフガニスタンの戦争の時から持続的に活動されています。

野田恒夫先生、ご講演(卓話)ありがとうございました。

江田英雄: 「チラシを入れさせていただきましたが、12月10日(土)に光産業創成大学院大学のオープンキャンパスを開催致します。ホームページからお申し込み下さい。お待ちしております。

出席部会: 富田清志



出席

94名中69名75%
前々回修正出席率79.3%





2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第420回例会
2011年12月6日
青少年育成PJ

『子宮頸がん撲滅を目指して～HPVワクチンの基礎と臨床』 野田恒夫先生の卓和

卓話者プロフィール

お名前 : 野田 恒夫様
勤務先 : クリニック ミズ ソフィア
役職 : 院長
医師会 : 静岡県産婦人科医会がん対策委員会委員長



(野田 恒夫 院長)

卓話タイトル

『ヒトパピローマウイルス(HPV) ～正しく知ってワクチンを～』

卓話内容

あなたはHPVワクチンをご存じですか？

子宮頸がんは、世界で2番目に多い癌で、年間50万人が罹患し、約30万人が死亡しています。我が国では年間約8000人が発病し、約2500人が亡くなっています。この女性の敵である子宮頸がんのワクチンが開発され、予防できるようになりました。

といっても、癌に効くワクチンではありません。子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV:Humanpapillomavirus)というウイルスの感染により起こります。

母親になろうとする女性の50～80%は一生に一度はHPVの感染し、多くは性交渉を経験する10～26才に感染が始まります。したがって若い女性がワクチンによってHPVに感染を予防できれば、2次的に癌予防できるということです。

ワクチン接種によるHPVに対する個人防衛となり、また感染拡大を防ぐことによって社会防衛ともなり、現在発がん性のHPVは15種類、その中で16・18型に対するワクチンのため、効果は70%ということになります。

あなたの大切な娘さん(お孫さん?)にHPVワクチンを接種しますか？

その時どのように説明しますか？

そして、HPVワクチンで新しい家族関係を築いてみませんか？

「お母さんの遺伝子を持った卵子」は、月に1回1個だけ排卵されますが、実はその一つの卵子は、お母さんの卵巣の中にあつた「400万個の卵子の中から選ばれた最も優秀な卵子」なのです。その卵子と出会い受精できるのは、「お父さんの遺伝子を持った一回の射精で排泄される数億の精子の中の「たった一匹最も優秀な精子」なのです。

受精しても、実際にお母さんの子宮に着床できるのは、人の場合 30%前後とされています。そして着床しても15～20%が妊娠の初期に流産します。これらの選択と関門が設けられているのは、「人として素晴らしい遺伝子」を次の世代に残そうとする自然淘汰なのです。この30兆分の一の確立の厳しい自然淘汰に負けることなくこの世に誕生してきた君は、「世界にたった一つ(67億分の1)の個性を持った大切な命」の存在なのです。

この「個性に満ちた輝ける君の命」に、自信とプライドを持って生き抜いて下さい。そして、素晴らしい人出会う、君の素晴らしい個性と心を持った遺伝子を次の世代に伝えていってください。

「性」は、次の世代への「心を伝えながら進化していく命のバトンリレー」なのです。

ワクチン接種を通じて家庭の中で「性」の問題を「おおらかに話し合う」ことが大切なのです。



(新事務局員 市川祐子さん)



〒430-7733

Tel/Fax 053-452-0800

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室

パワー浜松ロータリークラブ

Email info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp/